2020(令和 2)年度 「『授業改善』のための調査」報告書

柴田学園大学 FD 委員会 [R4.2]

目次

1.	実施方法	3
	(1)実施期間	
	(2) 実施・回収方法	3
	(3)実施科目	3
	(4)調査項目	3
	(5)集計方法	3
	(6) 回答率	3
	(7)結果の公表方法	3
2.	結果	4
	(1)年度別×学科別の 14 項目の平均値	4
	(a) 学科別の検討	4
	(b) 両学科の共通点	5
	(2)学年、学科別の平均値–健康栄養学科	5
	(3)学年、学科別の平均値児童学科	6
3.	まとめ: 今後の課題	7
4	付録	8

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 WiFi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習(および一部その関連)科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4)調查項目

(付録「授業改善」のための調査用紙 参照)

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1~8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「授業についての評価(項目番号 1~8)」を「教員の授業評価(Q1~Q8)」、「学生自身の授業の取り組み方についての評価(項目番号 9~13)」を「学生の自己評価(Q9~Q13)」と述べる。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別に データ処理を行った。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、2019(令和元)年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は74%、後期は61%であった。(表1)。

表1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2020 年度前期	132	3525	2148	60.94%
2020 年度後期	122	3055	2034	66.58%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表(科目別)」参照) また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

2. 結果

(1) 年度別×学科別の 14 項目の平均値

以下は健康栄養学科、児童学科の各質問項目についての平均点を年度別に整理したものである。

		倭	建康栄養学科	+		児童学科	
		30 年度	2019(R1) 年度	2020(R2) 年度	30 年度	2019(R1)年 度	2020(R2)年 度
1 月	興味関心	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3	4.5
2 3	シラバスのチェック	4.0	3.8	4.0	3.7	3.5	3.8
3 =	予習•復習	4.0	3.8	4.0	3.9	3.7	4.0
4 ‡	授業への質問	3.7	3.5	3.6	3.8	3.6	3.8
5 和	私語などしない	4.7	4.6	4.6	4.5	4.3	4.5
6 P	内容理解	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
7	目的明確さ	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.5
8 孝	教員熱意	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6
9 🖥	話し方明瞭・速さ	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
10 芎	学習内容の難易度	* R1 新設	4.2	4.4	* R1 新設	4.2	4.4
11 学	学習内容量	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
12 孝	数材の工夫	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.5
13 5	ンラバスと内容一致	4.5	4.3	4.4	4.6	4.2	4.3
14 糸	総合満足度	4.4	4.3	4.5	4.4	4.3	4.5

(a) 学科別の検討

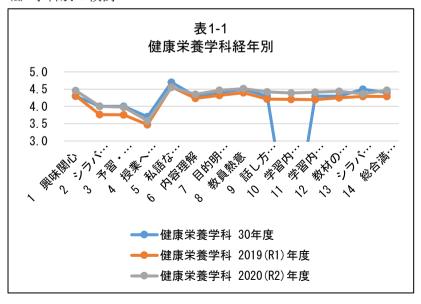


表 1-1 から、健康栄養学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては例年と変わるところはないものの、昨年度低下していた、学生によるシラバスのチェック、予習復習、質問の三項目について、一昨年のレベルまで戻っている点、設問7以降の、教員の授業についての学生の評価も上がっている点が注目される。

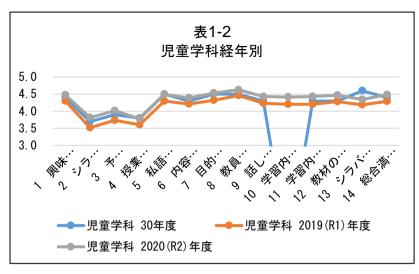


表1-2から、児童学科の数値を 年度ごとに比較すると、健康栄養 学科同様、全体的な傾向としては 大きな変化はないが、シラバスや 予習復習、授業への質問の項目 で、数値が上昇している。また、 設問7以降の、教員の授業につ いての学生の評価も上がってい る点が注目される。

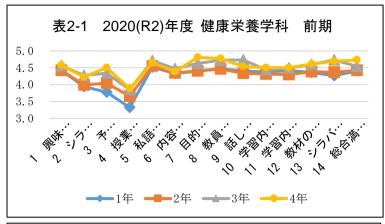
(b) 両学科の共通点

両学科の共通点として、例年同様に、学生の授業への積極的な参加が(数値上は)見られなくなっていることが挙げられる。もっとも、この点は以前から報告書中で指摘し、各教員に周知しており、若干であるが数値の上昇が見られていること、学生による教員の授業の評価(≠学生の自己評価)も高まっていることから、今後も教員全体として学生の授業への積極的な参加を促し、授業内容の理解度を高めていく取り組みを継続していけばよいと考える。

(2) 学年、学科別の平均値―健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

					2020(R	2)年度			
			前	期			後	期	
			健康	栄養			健康	栄養	
		1年	2 年	3 年	4 年	1年	2 年	3 年	4年
1	興味関心	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.6
2	シラバスのチェック	3.9	4.0	4.3	4.2	4.0	4.0	4.1	4.4
3	予習•復習	3.8	4.0	4.3	4.5	3.9	4.1	4.2	4.5
4	授業への質問	3.3	3.7	3.9	3.9	3.5	3.9	3.8	4.3
5	私語などしない	4.5	4.5	4.7	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
6	内容理解	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3	4.4	4.3	4.6
7	目的明確さ	4.4	4.4	4.6	4.8	4.5	4.5	4.4	4.6
8	教員熱意	4.5	4.5	4.7	4.8	4.5	4.6	4.5	4.7
9	話し方明瞭・速さ	4.4	4.3	4.7	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3
10	学習内容の難易度	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5
11	学習内容量	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5
12	教材の工夫	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.6
13	シラバスと内容一致	4.3	4.4	4.7	4.7	4.2	4.5	4.5	4.7
14	総合満足度	4.4	4.4	4.5	4.7	4.5	4.6	4.4	4.7



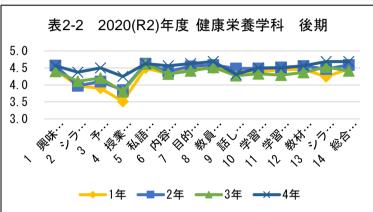


表 2-1 と表 2-2 からも明らかなように、健康栄養学科の場合学年が上がるにつれて授業参加への積極性が上がることがわかる。一方で、1 年次の科目については、シラバスのチェック、予習復習、授業への質問の項目の値が著しく低くなっている。そのため、表 1-1に表れていた全学年平均での消極的な姿勢は、健康栄養学科の場合、特に 1年次学生の評価に大きく影響を受けたものであることがわかる。

健康栄養学科1年次に配置されている 科目の多くが座学の授業であることに も起因するとは思われるが、学科での 特に初年次学生に求める全体としての 到達目標に照らして確認をする必要が あると思われる。

(3) 学年、学科別の平均値―児童学科

					2020(R2)年度			
			前	ī期			後	期	
			児	,童			児	童	
		1年	2 年	3 年	4 年	1年	2 年	3 年	4 年
1	興味関心	4.6	4.3	4.6	4.5	4.6	4.2	4.6	4.6
2	シラバスのチェック	3.7	3.6	4.0	3.9	3.9	3.6	4.1	3.9
3	予習•復習	3.6	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0
4	授業への質問	3.5	3.6	3.9	3.9	4.0	3.6	4.1	3.9
5	私語などしない	4.5	4.5	4.5	4.3	4.7	4.4	4.5	4.3
6	内容理解	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.2	4.5	4.3
7	目的明確さ	4.6	4.4	4.6	4.6	4.7	4.2	4.6	4.6
8	教員熱意	4.7	4.5	4.6	4.6	4.8	4.4	4.6	4.5
9	話し方明瞭・速さ	4.6	4.2	4.5	4.4	4.6	4.1	4.5	4.5
10	学習内容の難易度	4.5	4.2	4.5	4.4	4.5	4.1	4.5	4.5
11	学習内容量	4.6	4.2	4.5	4.4	4.6	4.1	4.6	4.5
12	教材の工夫	4.6	4.2	4.5	4.5	4.6	4.2	4.6	4.5
13	シラバスと内容一致	4.3	4.1	4.5	4.4	4.4	4.1	4.6	4.5
14	総合満足度	4.5	4.3	4.6	4.5	4.6	4.2	4.6	4.5

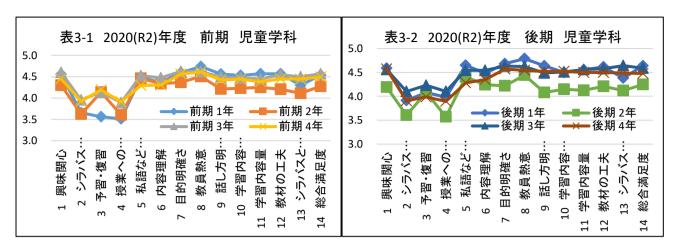


表 3-1、3-2 から、1年前期の予習復習の項目が著しく低いこと、2年次学生(現 3 年生)の数値だけが他学年に比べて低いことが見て取れる。特に2年次学生は、1年次であった昨年度も同様の傾向を示しており、昨年度の報告書においては、新カリキュラムの影響もあるかもしれないと推測したが、この年度の1年次学生(現 2 年生)についてそのような傾向はみられないことから、これはこの学年固有の傾向であるように思える。もっとも、この結果が学生が学びの到達目標への到達度を下げていることと同視されるかどうかについては、健康栄養学科同様、検討が必要であろう。

また昨年度は、4年次後期の授業についての評価が他に比べて著しく低かったものの、今年度はそのような傾向はみられない。

3. まとめ: 今後の課題

(1)回答率の向上

令和2年	度前期 授	業改善の	ためのアン	ケート	令和2年	度後期 授	業改善の	ためのアン	ケート
学年ごとの	の回答率				学年ごとの	の回答率			
1N	2N	3N	4N	N 全体	1N	2N	3N	4N	N 全体
78.1%	49.9%	32.4%	62.1%	57.9%	94.0%	57.3%	61.2%	83.30%	74.1%
1C	2C	3C	4C	C 全体	1C	2C	3C	4C	C 全体
75.4%	52.8%	65.1%	53.8%	62.9%	64.3%	55.3%	70.3%	53.1%	61.7%

*N=健康栄養学科 C=児童学科 * \bigcirc N=健康栄養学科 \bigcirc 年次学生 \bigcirc C=児童学科 \bigcirc 年次学生

令和2年度の回答率は両学科平均で前期 61%、後期 67%であり、学科と学年を分ければ上記のとおりである。これを見れば、1N 後期、4N 後期を除けばいずれも回答率が低くなっていることがわかる。4N の回答率は比較的高いが、これも科目数も受講者数も少ない中での数値であり、そこを除けば全体の回答率はさらに下がることになる。R1 年度の回答率が、両学科平均で前期約 74%、後期 61%であったこと、およびこの数値も前年度(平成 30 年度:前期 84%、後期 71%)よりも下がっていたことに鑑みれば、回答率は下げ止まっていない。教授会などで呼びかけた結果、令和 2 年度後期は全体としては回答率が上がっているが、児童学科の回答率は低いままである。昨年度の報告書においては、「そもそも学生がアンケートに回答する意欲を失っている可能性も否定できない。」と記載したが、この点は他の要因も含めて検討していく必要がある。

(2) 学生の積極性について

例年他の項目に比べて数値が低く出る、シラバスチェック、予習復習、質問については、課題を出すことや、質問のしやすい教材・環境整備が重要であるとの認識を得ており、また、学生の授業評価アンケートと併せて回収している教員用の授業評価アンケートにおいても、学生の受講の姿勢や成績についての教員の懸念が見て取れる。この点については、徐々に改善している様子は見られるが、引き続き学科で対策をとる必要があると思われる。

4. 付録

学生による「授業改善」のための調査(質問項目) 「授業改善」のための実施について(前期・後期) Webによる「授業改善」のための調査実施のお願い 学生による授業改善のための調査 集計結果表(科目別)

									- TH CH (I)	Fra Melm				
学生による	授業	改善	動力	こめ	の調	査	10.この	授業の学習内容						
必須									1	2	3	4	5	
							全くる	あてはまらない	0	0	0	0	0	よくあては
自分の授業取り組みに	ついての	評価					11.70	受業の学習内容の	の量は適	切であっ	o #= *			
1.授業の内容に興味・関	心を持	つことた	「できた	*							3	4	5	
	1	2	3	4	5		全く	あてはまらない	0	0	0	0	0	よくあては
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								
							12.この	授業では理解向	上のため	に、教	材や講乳	の方法	などのエ	夫がなされ
2.この授業のシラバスを	₽よくチ	エックし	<i>」た</i> *						1	2	3	4	5	
	1	2	3	4	5		-	あてはまらない	0	0	0	0	0	よくあては
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる	±/4	のではならない						6. V 80 C 16
3.この授業のために予答	四、给羽	カルた					13.シラ,	パスと授業内容	が一致し	ていた	*			
いこの反表のだめに予言									1	2	3	4	5	
	1		3	4	5		全く	あてはまらない	0	0	0	0	0	よくあては
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								
4.この授業で質問等を利	責極的に	した*					総合評	価						
	1	2	3	4	5		11.00	からQ13までを約	s⇔áhi=	- お 走! →	r z min	坐元进	見いと巻	バを狙っつ
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる	14. G1/ た*	からひいま ごを	g-pylc.	与慮し(CCOM	(来で順)	といくチ	いて待るこ
± (0) (100 5-00)						5 (5) (1840			1	2	3	4	5	
5.授業とは関係のない作	亍為(私	語や携	帯電話の	使用な	ど)をし	なかった*	全<	あてはまらない	0	0	0	0	0	よくあて
	1	2	3	4	5									
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる	自由記	述						
主人のとはならない						6100000								
6.総合的に判断して自分	うはこの	講義の国	目標を達	成する	ことがで	きたと思う*	この授 くださ	業の良いと思っ い	たところ	5、要望	等、調	査につい	て気づい	ハたことをフ
	1	2	3	4	5		回答を	入力						
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								
							戻る	送信						
授業に対する評価														
7.この授業の目標、目的	は明確	であった												
	1	2	3	4	5									
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								
2 (0 1,00 3 0 1						0.100.0								
8.この授業において、素	対員の熱	意が感し	こられた	*										
	1	2	3	4	5									
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								
9.教員の話し方は明瞭で	かつ適	切な速る	きであっ	た*										
	1	2	3	4	5									
全くあてはまらない	0	0	0	0	0	よくあてはまる								

2020年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

2020年度前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願 いします。入力はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答 者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

https://goo.gl/HznaxR (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください) 回答用URL:

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルタ・内「_2020前期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間:原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で9月4日(金)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目:2020年度 前期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール:入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、FD委員会までお願いします。

④ 学籍番号・メールア・レスはアンケーの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切 影響しませんので、安心して率直にお答ください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。 なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※児童学科は真面

開放 25ス	***	##6	担当教員名	日本非常機会	職 27ス	***	NR4	担当教具名	三字社協議 2
	3101	倫理学	齋藤 雅俊			3135	時事英語 I	杉本 久美子	
	3102	生活と文学	佐々木 隆		1	3137	ドイツ語 I	比内 馨	
	3104	歴史学	石戸谷 繁		1	3139	フランス語 I	工藤 貴子	
	3105	地域活性化論(8月集中講義)	小野 昇平		1	3304	地域健康支援実習(9月集中騰騰)	金田 直子	
	3111	化学A	富田 雅弘			3305	健康科学実習	前田 朝美	
	3114	統計学	中村 友是			3310	栄養生理学	飯泉 恭一	
	3115	生命科学	友田 志郎			3311	基礎免疫学	加地 眸	
	3121	情報機器の操作Ⅰ	寮良 拓散			3314	生化学実験	加藤 秀夫、叛杀 卷一	
	3131	英語	杉本 久美子			3317	食品学	富田 雅弘	
	3132	生活の英語 I	保村 和良			3324	鎖理学実習	今村 麻里子	
	3151	体育Ⅰ	神 和人			3326	基礎栄養学実験	加藤、出口	
1N	3302	社会福祉論	齋藤 史彦		2N	3328	世代別栄養学	出口、市川	
	3308	生化学	加藤 秀夫、新泉 巻一		1	3342	公衆栄養学	白戸 里佳	
	3320	間理学(9月集中講義)	石見 百江		1	3345	給食経営管理論	妹尾 良子	
	3325	基礎栄養学	加藤 秀夫		1	3432	家庭経営学(2)	工藤 寧子	
	3333	健康教育論	前田 朝美		1	3451	住居学	北原 啓司	
	3401	家政学原論(1)	佐々木 隆		1	3463	保育学(2)	福士 章子	
	3404	食の心理学	小林 琢散		1	3472	データ解析演習	奈良 拓散	
	3407	健康情報学	比内 馨		1	3501	家庭科教育法 [林 孝子	
	3441	被服学	葛西 美樹		1	3601	教育原理	齋藤 雅俊	
	3446	アパレルCAD実習(1)	工藤 寧子		1	3602	教職の理解	石戸谷 他	
					1	3603	教育行政	桐村 豪文	
					1	3604	教育心理学	小林 琢載	
	3312	微生物学	富田 雅弘			3201	卒業論文		実施しない
	3313	解削生理学実験	加地 体、板泉 卷一		1	3349	臨地実習総合演習	西田、神馬、前田、白戸	
	3329	スポーツ・運動栄養学(8月集中騰養)	中村 亜紀		1	3350	給食経営管理路地実習	妹尾 良子	実施しない
	3332	支行動論	前田 朝美		1	3351	公衆栄養学臨地実習	白戸 里佳	実施しない
	3337	臨床栄養管理学	百四-宮理-英聖(千)		1	3352	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	西田 由書	実施しない
	3338	臨床栄養生化学	西田 由書		4N	3353	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	西田 由書	実施しない
	3340	臨床科学実験	西田 由書		1	3517	教育実習	教職課程委員会	実施しない
	3341	臨床福祉栄養学実習	三上 意理		1	3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村	実施しない
3N	3347	給食経営管理実習	妹尾 良子		1				
	3415	学校栄養教育論	今村·前田		1				
	3425	家庭管理学振論	工藤 寧子				•	•	
	3433	被服平面構成実習	裏西 美樹		1				
	3471	家庭電気・機械	此内 馨		1				
	3508	家庭科教育法皿	荒城 英子		1				
		教育相談	萩臺 美紀		1				

網掛部分は卒業必修科目

間合せ先:東北女子大学FD委員会

∥旧奇学科≫

220	2童学科 科服教	科目名	担当教員名	国各種協模	関係 2つス	科目書号	特别名	担当教員名	国帯権総議
	2108	心理学	小林 琢飲			2147	ドイツ語 I	比内 馨	
	2109	地域活性化論(8月集中講義)	小野 昇平		1	2149	フランス語 Ι	工藤 貴子	
	2131	論作文技術I	船水 周			2204	教育課程論	上野 秀人	
	2133	情報機器の操作Ⅰ	奈良 拓飲]	2209	声楽 I	諏訪 才子	
	2141	英語AI	保村 和良			2234	ICTの基礎	友田 志郎	
	2143	英語BI	杉本 久美子]	2301	国語 I	船水 周	
	2161	体育Ⅰ	大島·神			2304	社会B	石戸谷 繁	
	2201	家政学原論	佐々木 隆			2315	小学体育A	大島·佐藤	
	2202	教育原理	齋藤 雅俊]	2502	子どもの保健	松尾 泉	
	2205	保育原理	安川 由貴子]	2505	子どもの言葉	船水 周	
	2207	ピアノ基礎Ⅰ	一戸 智之			2507	ピアノ表現Ⅰ	一戸 智之	
	2201	(※担当の教員一人のみ回答)	小林 由美子			2007	(※担当の教員一人のみ回答)	小林 由美子	
10	2211	被服・額理の基礎実習	高西-今村(麻)・工藤(定)		20	2509	造形表現A	長尾 明義	
	2220	基礎ゼミI	齋藤 雅俊他			2510	造形表現B	岩井 康報	
	2231	家庭管理学概論	工藤 寧子			2511	子どもの運動あそび I	小関 潤子	
	2232	被服学板論	葛西 美樹			2603	人間関係の指導法	吉田 裕美子	
	2233	食物学概論	富田 雅弘			2604	環境の指導法	佐藤 崇之	
	2236	児童文学	藤田 晴央			2707	教育方法·技術	花田 裕	
	2310	音楽I	一戸·諏訪]	2806	保育の計画と評価	江苅川 淳子	
	2504	子どもの環境	長尾 明義			2809	乳児保育Ⅱ	福士 章子	
	2701	教職の理解	石戸谷 他	l		2813	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会	
	2804	保育者論	安川 由貴子	l					
	2811	社会的養護Ⅰ	増田 貴人						
		1		l			1		
					_				
	2204	保育の心理学(2)	萩臺 美紀				卒業論文		実施しない
		ICT活用法(1)	奈良 拓猷			2209 2226	卒業論文 人権依育論	小野 昇平	実施しない
	2216 2225	ICT活用法(1) データ処理入門	奈良 拓散 小林 琢散			2226 2335	人権教育論 国語科教育法	船水 周	実施しない
	2216	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政	奈良 拓猷			2226	人權教育論 国語科教育法 社会科教育法		実施しない
	2216 2225 2333 2339	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法	奈良 拓散 小林 琢散 桐村 豪文 長尾 明義			2226 2335	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法	船水 周 本間 信博 高橋 信進	実施しない
	2216 2225 2333 2339 2342	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法	奈良 拓散 小林 琢散 桐村 豪文 長尾 明義 葛西·今村·工藤(率)			2226 2335 2336 2337 2338	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法	船水 周 本間 信博 高橋 信進 花田 裕	実施しない
	2216 2225 2333 2339 2342 2344	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法	奈良 拓戲 小林 延載 桐村 豪文 長尾 明義 葛西·今村·工鄉(事) 齋藤 雅俊			2226 2335 2336 2337 2338 2340	人權教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法	船水 周本間 信博 高橋 信進 花田 裕 一戸 智之	実施しない
	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道德教育の指導法 健康の指導法	奈良 拓戲 小林 琢戲 桐村 豪文 長尾 明義 葛西·今村·工鄉(寧) 齋藤 雅俊 小園 潤子			2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343	人權教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法	船水 周本間 信博 高橋 信進 花田 智之 上野 秀人	実施しない
	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法	奈良 拓戲 小林 琢戲 桐村 豪文 長尾 明義 義高·今村·工藤(草) 齋藤 雅俊 小開 潤子 吉田 裕美子			2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法	船水 周本間 信博 高橋 信道 花田 智之 上野 秀人 花田 裕	実施しない
30	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道德教育の指導法 健康の指導法	奈良 拓戲 小林 琢戲 桐村 豪文 長尾 明義 葛西·今村·工鄉(寧) 齋藤 雅俊 小園 潤子		40	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343	人權教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法	船水 周本間 信博 高橋 信進 花田 智之 上野 秀人	実施しない
30	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法	奈良 拓戲 小林 琢戲 桐村 豪文 長尾 明義 義高·今村·工藤(草) 齋藤 雅俊 小開 潤子 吉田 裕美子		4C	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法	船水 周本間 信博 高橋 信道 花田 智之 上野 秀人 花田 裕	実施しない
30	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1)	奈良 拓啟 小林 琢放 無	実施しない	4C	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358	人権教育論 国話科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生徒指導	船水 周 本間 信博 高祖 信進 花田 裕 名之 上野 裕 石戸谷 繁	
3C	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1)	奈良 拓猷 小林 琢飲 积积 京文 長尾 中村·工藤(草) 南縣 雅文 雅俊 小樹 和子 雅俊 小樹 十子 原数 本子 東朝	実施しない	40	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359	人權教育論 国話科教育法 算数科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生徒指導	船水間 本間標 信機 花田 一戸野田 子 花石 天 子 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 ろ ろ る ろ る	
30	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352 2354 2365	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1) 表現の指導法I(1)	奈良 拓戲 小林 琢戲 柳村 豪文 長高 中村·工鄉(車) 瀬鄉 別子 古田 裕美子 諏訪 才子 岩井 康程委員会 教職課程委員会	実施しない	40	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359	人権教育論 国語科教育法 注会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生徒指導 教育相談 教育実習(小)	船水間 本間標準 高花田戸野田谷 七戸野田谷 石戸谷 茶板 板 板 田 田 田 田 田 谷 田 戸 野田谷 田 谷 田 戸 谷 名 石 戸 野 田 谷 名 石 戸 谷 名 を 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	実施しない
3C	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352 2354 2365 2366	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 表現の指導法 I(1) 教育書後指導(幼) 子どもの保健Ⅱ	奈良 拓戲 小林 琢戲 柳村 豪文 長尾 中村·工鄉(車) 瀬鄉 別子 古田 裕美子 諏訪 才子 岩井 康程委員会 松雅課程委員会 福士 章子	実施しない	4C	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359 2361 2362 2363	人権教育論 国語科教育法 注会科教育法 算數科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生徒指導 教育相談 教育事後指導(小) 学校教育体験楽習I(小)	船水周 本間標 高機田報 一戸野田谷 七戸野田谷 新 石戸谷 類配 後 機 を 機 を を を を を を を を を を を を を を を を	実施しない
3C	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352 2354 2365	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 道徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1) 表現の指導法I(1)	奈良 拓戲 小林 琢戲 柳村 豪文 長高 中村·工鄉(車) 瀬鄉 別子 古田 裕美子 諏訪 才子 岩井 康程委員会 教職課程委員会	実施しない	40	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359 2361 2362	人権教育論 国語科教育法 注会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生徒指導 教育相談 教育実習(小)	船水間 本間標準 高花田戸野田谷 七戸野田谷 石戸谷 茶板 板 板 田 田 田 田 田 谷 田 戸 野田谷 田 谷 田 戸 谷 名 石 戸 野 田 谷 名 石 戸 谷 名 を 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	実施しない
3C	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352 2354 2366 2366 2382	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 遊徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 表現の指導法 I(1) 教育(第) 事前事後指導(幼) 子どもの保健Ⅱ 子どもの食と栄養	奈良 拓転 小林 琢放 根尾 取放 根尾 取分・工事(車) 東部 関田 裕子 子 に対す 東東 教職 課程 要員会 教職 課程 要員会 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	実施しない	40	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359 2361 2362 2363 2373	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生性指導 教育実習(小) 事前事後指導(小) 学校教育体験実習 I (小) 児童家庭福祉(1)	船水 周 本間標 信達 花田戸野田 名 花田戸野田 名 花田戸 著名 花田戸 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程	実施しない
30	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2352 2354 2365 2366 2382 2383 2387	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 遊徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1) 表現の指導法 I(1) 教育実習(幼) 事前事後指導(幼) 子どもの保健 II 子どもの食と栄養 障害児保育	奈良 拓哉 小林 球食 小林 東文 長高 中村・工庫(車) 南藤 関田 竹 オー 南藤 関田 竹 オー 東東 東東 大子 中 海瀬 課 東東 東	実施しない	4C	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359 2361 2362 2363 2373	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生性指導 教育実習(小) 事前事後指導(小) 学校教育体験実習 I (小) 児童家庭福祉(1)	船水 周 本間標 信達 花田戸野田 名 花田戸野田 名 花田戸 著名 花田戸 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程	実施しない
зс	2216 2225 2333 2339 2342 2344 2348 2349 2352 2354 2365 2366 2382 2383 2387 2390	ICT活用法(1) データ処理入門 教育行政 生活科教育法 家庭科教育法 遊徳教育の指導法 健康の指導法 人間関係の指導法 表現の指導法 I(1) 教育実習(幼) 事前事後指導(幼) 子どもの保健 II 子どもの食と栄養 障害児保育 書語表現	奈良 拓戲 小林 孫文 長高齊縣 開田 竹 才 東 東京 新 東京 新 東京 新 東京 新 東京 新 東京 新 東京	実施しない	4C	2226 2335 2336 2337 2338 2340 2343 2345 2358 2359 2361 2362 2363 2373	人権教育論 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 音楽科教育法 体育科教育法 体育科教育法 特別活動の指導法 生性指導 教育実習(小) 事前事後指導(小) 学校教育体験実習 I (小) 児童家庭福祉(1)	船水 周 本間標 信達 花田戸野田 名 花田戸野田 名 花田戸 著名 花田戸 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程 養 課程	実施しない

※ 網掛部分は卒業必修科目

【東北女子大学Wi-Fi】 ID:tojo-wifi パスワード:sakura-2019

2020年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

2020年度後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL: https://goo.gl/aBWDsV (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダウ「2020後期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で2月22日(月)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2020年度 後期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認欄を利用し、未回答料目がないようにお願いします。

回答確認メール:入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。

③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。

④ 学籍番号・メールアドレスはアンケーの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切 影響しませんので、安心して率直にお答ください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。

なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※児童学科は2枚目

3112 3113 3122 3133 3152 3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405		小野 昇平 版東 恭一 比內 表 馨 保村 和良 神 和良 神 和 八 加 節 内 静 告 加 節 多 申 出 口 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			3134 3136 3138 3140 3306 3307 3315	プレゼンテーション論 科学のための英語 時事英語 II ドイツ語 II フランス語 II 解例生理学 病態別生理学 栄養生化学実験	友 水 本 内 整 子 上 加 地 斯 本 中 加 斯 来 即	
3113 3122 3133 3152 3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	物理学 情報機器の操作II 生活の英語II 体育II 地域健康支援論 健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎調理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	比内 馨 奈良 拓教 保村 和良 神 和人 加藤(蘭)·今村 倉内 静香 加藤、出口 前多 華 里子 加藤、出口			3136 3138 3140 3306 3307 3315 3316	時事英語 I ドイツ語 I フランス語 II 解例生理学 病態別生理学 栄養生化学実験 栄養生理学実験	杉本 久美子 比内 馨 工幕 貴子 加地、飯泉 加地 眸 加藤、出口 飯泉 恭一	
3122 3133 3152 3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	情報機器の操作Ⅱ 生活の英語Ⅱ 体育Ⅲ 地域健康支援論 健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎類理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	奈良 拓哉 保村 和良 神 和人 加藤(陽)・今村 倉内 静香 加藤、出口 前多 単人 今村 麻里子			3138 3140 3306 3307 3315 3316	ドイツ語 I フランス語 I 解剖生理学 病態別生理学 栄養生化学実験 栄養生理学実験	比内 馨 工幕 貴子 加地、飯泉 加地 眸 加藤、出口 飯泉 恭一	
3133 3152 3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	生活の英語 II 体育 II 地域健康支援論 健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎調理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	保村 和良神 和人加藤(陽)・今村 倉内 静香 加藤、出口 前多 準人 今村 麻里子			3140 3306 3307 3315 3316	フランス語 I 解剖生理学 病態別生理学 栄養生化学実験 栄養生理学実験	工幕 貴子 加地、飯泉 加地 詳 加藤、出口 飯泉 恭一	
3152 3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	体育Ⅱ 地域健康支援論 健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎調理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	神和人 加藤(陽)·今村 倉内 静香 加藤、出口 前多 準人 今村 麻里子			3306 3307 3315 3316	解剖生理学 病態別生理学 栄養生化学実験 栄養生理学実験	加地、飯泉加地 詳加藤、出口飯泉 恭一	
3301 3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	地域健康支援論 健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎類理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	加藤(隔)·今村 倉内 静香 加藤、出口 前多 準人 今村 麻里子 加藤、出口			3307 3315 3316	病態別生理学 栄養生化学実験 栄養生理学実験	加地 詳加藤、出口飯泉 恭一	
3303 3309 3318 3323 3327 3403 3405	健康衛生学 栄養生化学 食品健康科学 基礎類理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	倉内 静香 加藤、出口 前多 準人 今村 麻里子 加藤、出口			3315 3316	栄養生化学実験 栄養生理学実験	加藤、出口飯泉 恭一	
3309 3318 3323 3327 3403 3405	栄養生化学 食品健康科学 基礎調理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	加藤、出口 前多 準人 今村 麻里子 加藤、出口			3316	栄養生理学実験	飯泉 恭一	
3318 3323 3327 3403 3405	食品健康科学 基礎類理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	前多 準人 今村 麻里子 加藤、出口						
3323 3327 3403 3405	基礎類理学実習 応用栄養学 トレーニング科学	今村 麻里子 加藤、出口			3322	A D ###	富田 雅弘	$\overline{}$
3327 3403 3405	応用栄養学 トレーニング科学	加藤、出口				食品学実験		
3403 3405	トレーニング科学			2N	3330	応用栄養学実習	加藤、出口	
3405					3331	栄養教育論	前田 朝美	
	Annual Association	大島 義晴			3335	臨床栄養学	西田 由書	
2406	おいしきの科学	今村 麻里子			3346	給食経営実践論	妹尾、花田(玲)	
0400	食品機能学	富田 雅弘			3421	健康·食生活論	加廉(秀)-今村-波郁(他)	
3431	家庭経営学(1)	工藤 寧子			3445	被服学実験	宫野 洋子	
3442	被服立体構成実習	工藤 寧子			3502	家庭科教育法Ⅱ	林 孝子	
3461	保育学(1)	福士 章子			3606	教育課程論	森本 洋介	
3462	家庭看護	大津 美香			3607	道徳教育の指導法	齋藤 雅俊	
					3609	特別活動の指導法	花田 裕	
					3610	教育方法·技術	森本 洋介	
3201	卒業論文		実施しない		3518	教職実践演習(中·高)	齊廉(雅)、小井、萬酉 他	
3319	食品科学	富田 雅弘			3520	板職実践演習(栄養教諭)	膏廳(雅)、小井 他	
3321	食品科学実験	富田 雅弘		1				
3334	栄養教育論実習	前田 朝美						
3336	実践介護食事論	西田 由書						
3339	臨床栄養学実習	西田 由書						
3343	地域健康栄養学	餅 美知子		AM				
3344	公衆栄養学実習	餅 美知子		400				
3348	栄養管理総合演習	西田·妹尾						
3509	家庭科教育法Ⅳ	葛西 美樹						
3513	生徒指導(進路指導を含む)	石戸谷 繁						
3514	生徒指導	石戸谷 繁						
3516	事前事後指導(中・高)	葛西・工藤(寧)						
3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田·今村						
34 34 34 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 3	431 442 461 462 201 3319 3221 3334 3336 3339 343 344 344 5519 5513	431 家庭経営学(1) 442 被股立体構成実習 461 保育学(1) 482 家庭看護 201 卒業論文 319 食品科学 321 食品科学実験 334 栄養新育論実習 336 寒践介護食事論 339 臨床栄養学業習 344 公衆栄養学業習 348 栄養管理総合演習 509 家庭科教育法 509 家庭科教育法 516 年後指導(進路指導を含む) 514 生徒指導 516 事前事後指導(中・高)	************************************	201 京庭経営学(1) 工藤 本子 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3445	3445 被配分件模块 2	3445 被服学実験 255 洋子 2442 被服か体情点実習 工藤 東子 2461 保育学(1) 福士 東子 2462 家庭看護 大津 美香 2463 教育 課程 2464 森木 洋介 2464 森木 千介 2464 森木 千

※ 網掛部分は卒業必修科目

東北女子大学FD委員会(問合せ先:学務課)

≪児童学科≫

関膜 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認機	関膜クラス	科目番号	料目名		担島教員名	回答確認権
	2101	倫理学	齋藤 雅俊			2122	化学	飯泉	8-	
	2103	日本国憲法	小野 昇平			2123	物理学	比内	8	
	2124	生物学	友田 志郎			2148	ドイツ語 II	比内	8	
	2125	数学	比内 馨			2150	フランス語Ⅱ	工藤	貴子	
	2126	統計学	小林 琢載			2210	声楽Ⅱ	諏訪	才子	
	2132	論作文技術Ⅱ	船水 周			2235	ICT活用法	友田	志郎	
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良 拓散			2302	国語Ⅱ	船水	周	
	2142	英語AII	保村 和良			2305	算数A	高橋	信進	
	2144	英語BⅡ	杉本 久美子			2307	理科A	此内	8	
	2162	体育Ⅱ	大島·神			2308	理科B	友田	志郎	
	2203	教育心理学	小林 琢散			2312	図画工作A	長尾	明義	
	2206	保育の心理学	萩臺 美紀			2313	図画工作B	岩井	康糧	
1C	2208	ピアノ基礎Ⅱ	一戸 智之		2C	2316	小学体育B	佐藤	睦子	
	2200	(※担当教員一人のみ回答)	小林 由美子			2405	生活科教育法	長尾	明義	
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤 雅俊 他			2501	子どもの健康と安全	福士	章子	
	2309	生活	長尾 明義			2506	子どもの表現	岩井	·諏訪	
	2311	音楽Ⅱ	一戸・諏訪			2508	ピアノ表現Ⅱ	一戸	智之	
	2503	子どもの人間関係	吉田 裕美子			2306	(※担当の教員一人のみ回答)	小林	由美子	
	2601	保育内容総論	安川 由貴子			2512	子どもの運動あそびⅡ	小関	潤子	
	2808	乳児保育 I	吉田 裕美子			2605	言葉の指導法	船水	周	
	2812	社会的養護Ⅱ	増田 貴人			2703	特別支援教育論	松本	敏治	
						2704	道徳教育の指導法	齋藤	雅俊	
						2805	子ども家庭支援の心理学	萩臺	美紀	
						2810	障害児保育	若林	一哉	
						2814	保育実習IA	保育	士課程委員会	実施しない
						2815	保育実習IB	保育	士課程委員会	実施しない
	2206	臨床心理学	萩臺 美紀			2111	自然科学概論	比内	8	
	2217	ICT活用法(2)	奈良 拓哉			2209	卒業論文			実施しない
	2224	児童心理学実験	小林 琢散			2223	特別支援教育論	松本	敏治	
	2326	家庭科実習	葛西・工藤(寧)			2360	教職実践演習(幼・小)	齋藤	雅俊 他	
	2332	教育史	齋藤 雅俊			2364	学校教育体験実習Ⅱ(小)	教職	課程委員会	実施しない
	2335	国語科教育法	船水 周			2372	相談援助	久保	治美	
	2336	社会科教育法	石戸谷 繁			2374	児童家庭福祉(2)	小野	昇平	
	2337	算数科教育法	久慈 和寛			2384	家庭支援論	安川	由貴子	
	2338	理科教育法	花田 裕			2396	保育実践演習	安川	由貴子	
3C	2339	生活科教育法	長尾 明義		4C					
	2340	音楽科教育法	一戸 智之							
	2341	図画工作科教育法	蝦名 敦子							
	2342	家庭科教育法	葛西・工藤(寧)							
	2343	体育科教育法	上野 秀人							
	2350	環境の指導法	佐藤 崇之							
	2353	表現の指導法 I(2)	諏訪 才子	1						
	2355	表現の指導法Ⅱ(2)	岩井 康賴							
	2371	社会福祉	小野 昇平							
	2395	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない						
%		網掛部公け卒業必修科目					1	_		

※ 網掛部分は卒業必修科目

【東北女子大学Wi-Fi】

ID: tojo-wifi

バスワード: sakura-2019

東北女子大学FD委員会(問合せ先:学務課)

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、<u>5~10 分程度調査回答のための時間を設けて回答</u> させてください。(講義内に回答させると、回答率が非常に高くなります。)

学生には事前にメールにて「2020 年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について」を送信していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務課まで問い合わせるようお伝えください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。 後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立 て頂きたいと思います。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

- ◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。
- 1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開 いてください。

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「 2020 後期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

(学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するよう お伝えいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。)

- (授業の科目番号、科目名を読み上げて、)この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。
- 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、 講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

20**年度 〇期 学生による授業改善のための調査 集計結果表(科目別)

東北女子大学	〇股問別平均値比較レーダー:	26 名 34音楽の満日度 5 2/2/ なの活用	83.9 %	各条 60.6 96 IS/カ/ス上内部の一型		2数は、課職方法の工夫	_	中には中国な場の側は他があります。	4.0 4.3 立学習が最初的は選切。	9組、方の明確は、速さ	3.0 3.8	3.2 3.6 〇自由記述	4.3 4.6	4.0 4.3	4.1 4.3	4,3 4,4	4.0 4.2	4.1 4.2	4.3	4.2 4.3	4.1 4.3	
(科目別)	履修者数	回答者数	回答率	全学平均回答率	-	<u></u>	-	まったく あては まらない	0	0	- 3	2 3	0	0	0	0	- 4	0	0	0	0 4	,
表 (表				ш		2	2	あまり ま あては 3 まらない 書	-	9	9	4	0	-	-	0	0	-	-	-	0	9
集計結果表	幸					回絡分布(人)	e	どちらでもない。	4	Ξ	12	10	ıo	S	5	4	9	4	က	ო	9	-
蒼	0年**学科	無	***			_	4	まあまあ あては まる	16	9	2	80	6	12	Ξ	Ξ	10	13	9	12	12	Ξ
わの調	Ö						2	よくあてはまる	2	က	2	2	12	8	6	Ξ	6	80	12	10	8	Ξ
〇期 学生による授業改善のための調	2555	******** 授業形態	0000 教員番号	1	〇項目別回舎分布(人数と半均値)		÷ = 3	数闭入	授業の内容に興味・関心を持つことができ た	この授業のシラバスをよくチェックした	この授業のために予習・復習をした	この授業で質問等を積極的にした	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話 の使用など)をしなかった	総合的に判断して自分はこの講義の目標を 達成することができたと思う	この授業の目標、目的は明確であった	この授業において、教員の熱意が感じられた	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さで あった	この授業の学習内容の難易度は適切で あった	この授業の学習内容の量は適切であった	この授業では理解向上のために、教材や講 義の方法などの工夫がなされていた	シラバスと授業内容が一致していた	01から013までを総合的に考慮してこの授
20**年度	科目番号	発	教員名	1 2	回河回		西田	梅	-	2	က	4	ro.	9	7 5	00	жr то о	2	=	5	13	1 4
20**	本	科目名	教員] }	<u>F</u>			\$	1	1 1 1	こつい口手の	ての授業	評価取組	`		Ę	反業に	いい	h e i	岸垣		総